

令和5年度 帯広第四中学校 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について(結果と考察)

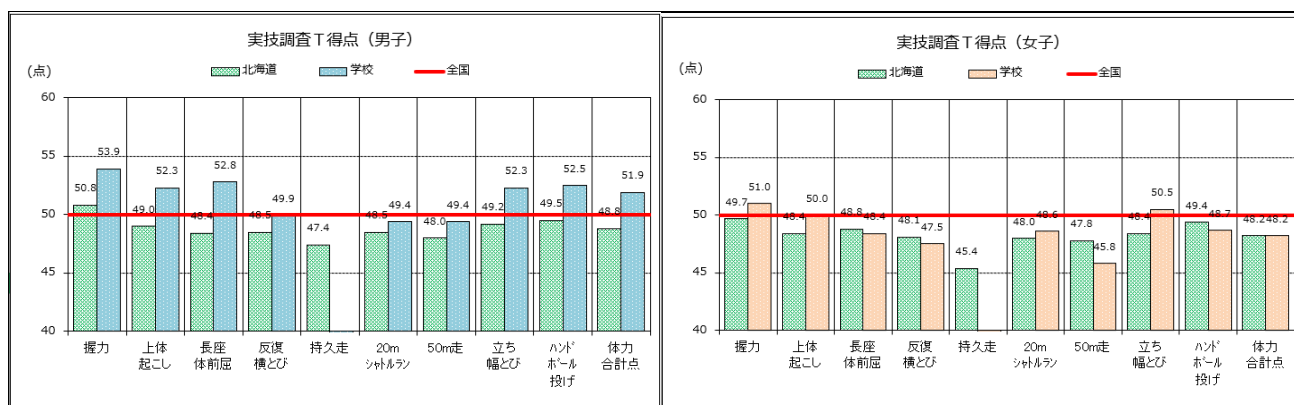
◎ **調査対象** 令和5年度 帯広市立帯広第四中学校 第2学年

◎ **実施時期** 令和5年4月～7月

◎ 体力・運動能力調査結果(実技集計より)

中学校 2年男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	29.02	25.82	44.16	51.22	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
北海道	29.57	25.17	42.38	49.87	74.26	8.20	194.57	20.08	40.00
四中	31.85	27.25	47.32	51.12	76.62	8.06	204.18	21.93	43.41
分析	高い	高い	高い	低い	低い	低い	高い	高い	高い

中学校 2年女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	23.15	21.62	46.27	45.65	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22
北海道	23.03	20.67	45.02	44.28	46.73	9.15	162.04	12.17	45.06
四中	23.64	21.64	44.52	43.82	48.03	9.33	167.78	11.88	45.15
分析	高い	高い	低い	低い	低い	低い	高い	低い	低い



◎ 体力・運動能力調査結果から分かること

- 男子は5種目で全国平均を上回り、3種目で全国平均を下回る結果となった。
- 女子は3種目で全国平均を上回り、5種目で全国平均を下回る結果となった。
- 体力合計点は、男子が全国平均を上回り、女子は全国平均を下回る結果となった。

◎ 体力・運動能力調査結果からの考察

- 男女ともに「握力」「上体起こし」「立ち幅跳び」の数値が、全国平均を上回る結果となった。
- 男女ともに「20mシャトルラン(持久力)」の数値が、全国平均を2回程度下回る結果となった。
授業での体力を高める運動の強化や、部活動等での体力トレーニングを呼びかけていきたい。
- 男子は、「反復横跳び」や「50m走」の数値が全国平均と比べてやや低い結果となった。体づくり運動の中で体の動かし方を身に付けられる運動を積極的に実施していく。
- 女子は、「50m走」の数値が、全国平均に比べて低く課題が残った。昨年同様、陸上競技、特に「短距離走」への苦手意識がある生徒が多く、それがそのまま結果となって表れていると考えられる。

◎ 運動習慣調査結果(生徒質問紙集計より)



◎ 運動習慣調査結果からの考察

- 健康や運動に関心・意欲を高め、取り組むことができる生徒が多いと考えられる。
- 男女ともに、部活動や地域のスポーツクラブに所属していない2割程の生徒への運動習慣の構築を考えていきたい。
- 体力向上は家庭での生活習慣とも関係している。特に、睡眠時間の短さが男女共に気になる。規則正しい生活の必要性を共有していくとともに、家庭でも運動習慣をつくっていけるように協力・連携していきたい。